

令和5年度第1回多摩市在宅医療・介護連携推進協議会

要点録

○協議会概要

開催日時	令和5年5月30日(火) 19時00分～20時00分
開催方法	対面開催
出席委員	<p>新垣 美郁代 会長 明石 のぞみ 委員 浅井 英夫 委員 影近 卓大 委員 岸野 美由紀 委員 岡田 美保 委員</p> <p>渡邊 郁子 副会長 斎藤 伸介 委員 後藤 靖治 委員 前山 英之 委員 三浦 未来 委員 瀧 真木子 委員</p> <p>(計12名)</p>
欠席委員	<p>小泉 勝長 委員 1名</p> <p>見学 金沢さん(すみれ訪問看護ST)</p>
事務局	<p>健康福祉部長 伊藤 重夫 高齢支援課長 五味田 介護保険課長 原島 介護保険担当主査 高山 地域ケア推進係長 八木 地域ケア推進係 中島・青木・萩原 多摩市高齢者在宅療養支援窓口 相談員 淵野</p> <p>(計9名)</p>
公開区分	公開
傍聴者	HPにて公募 無し

令和5年度 第1回 多摩市在宅医療・介護連携推進協議会要点録

◆出欠の確認

出席委員数：12名。(欠席：1名 小泉委員)

今年度から対面開催が再開。傍聴者無し。

◆会長・部長挨拶と、委員紹介

【会長】

コロナも落ち着いたが、受診者の陽性率が高い状況。

【健康福祉部長挨拶】

R5.4月から着任。以前保健医療政策担当部長でしたので引き続きよろしく願いいたします。

多摩市では、5月8日からコロナワクチン開始している。多摩市は対象者43,574名のうち10,162人が接種済み。23.5%と国や都に比べ多摩市は接種率が高い状況。

※参考：接種率 都11.5% 国8.1%

【委員自己紹介】

後藤委員 多摩市から多摩地区の代表になった

PT 影近委員 次回から南部地域病院西沢さんへ交代

訪問看護岸野委員 来年度すみれ金沢さんに変更

保健所岡田委員 新委員 三宅島から異動

事務局 原島 健幸まちづくりから介護保険課長異動

萩原 4月から高齢支援課へ異動

《報告事項》

次第1 令和5年度多摩市在宅医療・介護連携推進協議会報告

資料1について説明

今後の協議ポイントについての意見としては、チームが合意して意思決定支援を行うため、多職種連携が重要。

対家族になるのではなく、チームの一員として一緒に協力していく考えをもつこと。

また、普及啓発についての意見としてACPの考え方については、まだ普及が十分でないのではということでした。

令和5年度のテーマについてはのちほどの協議事項で検討予定。

次第2 多摩市高齢者在宅医療支援窓口について実施報告

【高齢者在宅医療支援窓口 淵野氏】

・令和4年度実績報告。(資料2)

相談者は50%半々で市民と医療介護関係者

ケアマネジャーからの相談が増えている。

コロナに関する相談。認知症と複数科の受診について、胃ろう増設や意思決定支援もあった。

・来年度の活動計画(資料3)

周知活動として、医師会のホームページを活用している。窓口ニュースも年2回発行しているが、まだ相談窓口の認知度は低いと感じる。窓口ニュース・ホームページの内容充実を図る。

相談内容は近隣市医療機関の相談、複数科の併用医療機関問い合わせも多い。医療資源リスト一覧等の更新や、利用法の周知活動を行う。

連携強化のための顔の見える関係づくりとして①訪問看護ステーションと医師会の連絡会を5月22日実施した。②近隣5市の窓口連絡会を5月22日実施した。

【会長】

高齢者在宅医療支援窓口の活動の隙間が埋まっているように感じる。

◆意見交換

【病院相談員 前山委員】

医療機関の連絡は中でないとわかりにくいところがある。

外部にわかりやすく説明できるといいが、個人情報もあり難しいので窓口の周知が広がって協力していけるとよい。

【会長】管理栄養士さんの相談は何か？

訪問で歯科診療をしているところを聞かれた。

【明石委員】市民の相談も増えているが、ここでなくてもいいものがあるのでは？

【淵野さん】医師会のHPは市民にはオープンにしていないので、ここから見られない情報がある。今後わかりやすく開示できるとよい。

【会長】医療機関名簿について訪問診療していない医院も名簿に載っていたり、正しい情報を整理していただければと思う。

《協議事項》

次第3 今年度のテーマ「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援～本人の思いをどうつ

なげていくか～」(案)について

令和5年度の協議会のテーマについて事務局より説明。

資料1で令和4年度の協議内容を報告したが、認知症機能が低下した方の意思確認は非常に課題が多く、どのように意見を引き出していくかを成功例や事例を通じて学ぼうという意見が出た。そして、「認知機能が低下した高齢者の意思決定「ACP」について学ぼうという意見がでている。

事務局として「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援～本人の思いをどうつなげていくか～」(案)を提案する。

◆テーマに関する意見交換

【訪問看護 岸野委員】

家族の方から聞くことが多い。当人とは信頼関係を作り意見が出たときに記録する。関係機関で共有することが大切だと思う。

【居宅介護支援事業所 渡邊副会長】

家族の意見のみになりやすい。信頼を受ける人からの情報を集約していけるといい。多職種の情報交換が必要。

【地域包括支援センター 瀧委員】

近年地域ケア会議の8割くらいが認知症の方、意思決定支援が多い。家族やキーパーソン不在が多い。本人が他人をいきなり信頼してくれるわけではないので時間をかけて信頼されるようにしている。元気なうちの意思決定支援がいいと思う。エンディングノートの講座も検討している。

【会長】

何がほんとなのか？ご家族に伺うだけでは本人の意思と離れていくこともある。繰り返し傍に寄り添っていくことができるとのことだと思う。

継続して2年目のテーマとなるが「認知機能が低下している高齢者の意思決定支援～本人の思いをどうつなげていくか～」についてとし、本人の意思をどう確認していくか協議していく。

◆「認知機能が低下している高齢者の意思決定支援～本人の思いをどうつなげていくか～」について、今年度の取り組みに関する意見交換

【リハビリテーション 影近委員】

研修では具体的な事例を知っていくことができ有意義。

リハビリテーションの立場で入るので意思決定支援があまりないが、運動しながら本音を聞くこともできる。グループワークの中で検討していけるといい。

【会長】嫌われないようにうまく関係することが大切。

【薬剤師会 斎藤委員】処方箋ではあまり意思を聞く機会ないが、知った時には共有する場があるといい。できるだけ早く伝えてあげたい。

【柔道整復師 後藤委員】

非常に本音を聞くことが多い。あれって思うことあるが、認知症があったり、一人暮らしで誰に伝えるのか分からない。

【多摩市歯科医会 浅野委員】

看取りや訪問で診療しても義歯が間に合わないこともある。研修で多職種の苦勞が分かったりする。研修と協議会の両方で合わせて ACP 等を以前勉強したことがあったが、とても良かったので皆で研修していくのは良いと思う。

【会長】

ご意見のとおり、今年度の研修で実施予定のグループディスカッションで、各職種の抱えている事例（成功例）共有しどのような情報をとれば有効か検討すること。

抽出された課題から、今後どのようにその課題に対応をしていくとよいかを、第2回目の協議会で検討していければと思います。どうやって生きていくかが検討できればと思います。

次第4「令和5年度多摩市在宅医療・介護連携推進事業年間計画」

資料4説明

質疑なし。

その他報告事項

- 1 多摩市在宅医療・介護連携推進協議会委員の改正について（R5，7月）
現委員の2年間の期間が終了し新委員が7月から決定する。
次回協議会から新しい委員で行う。
- 2 認知症施策推進協議会について
「NW オレンジの会」「ケアパス検討委員会」「初期集中支援チーム検討委員会」を統一認知症施策推進協議会が始まる。7月から委員を任命し、年2回開催予定。
- 3 第9期多摩市高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画の策定について
R6年に改訂予定。内容について検討中。またご意見をいただくのをお願いしたい。
- 4 健幸まちづくりシンポジウムについて「旅立ちへの備え～最後まで自分らしく生きるために～」(市民向け) R5年7月17日(月)講師天本先生 ACPについて

5 日医大永山病院から（チラシ）

入院または通院している患者さんに私の思い手帳をもとに病院スタッフと相談しようと言うものです。個人で予約になります。

6【なごみ 渡邊さん】主任介護支援専門員の連絡会を立ち上げ

白楽荘居宅介護支援事業所小坂さんが会長、渡邊さんが副会長。

ファシリテーターなど協力ができる。主任介護支援専門員 23名くらい。

次回開催について

次回は来年度2月の開催を予定。

日程については、改めて調整する。

終了